

カリキュラム 区分		授業 科目	看護に生かす物理学 Nursing Physics			担当 教員	平田 雅子 (非常勤)
開講年次	2年次前期	単位数	1単位	科目 分類	看護学の基盤となる科目Ⅱ	授業形態	講義
選択必修	選択	時間数	15時間			使用教室	
授業の目的及びねらい		<p>この授業は一般物理学ではなく、強いて言えば「看護物理学」である。看護に必要な力学、圧力を主に学ぶ。なぜなら力学は看護技術の基本であり、血圧をはじめとして圧力は看護に多く関わる分野であると共に不十分な知識が医療ミスに繋がりがねないからである。物理学の知識がゼロとして具体的に述べる。</p>					
授業のキーワード		看護と力学、看護と圧力					
講義回数	授 業 内 容 及 び 計 画						
第1回	Ⅰ：力の加減、牽引や体位変換における力学 Ⅱ：看護にみられる作用・反作用の法則、摩擦力の種類と大きさ						
第2回	Ⅲ：トルクとは、臨床におけるトルクの考え方、体位変換のEBN						
第3回	Ⅳ：倒れない条件と倒れにくい条件、重心の一致と重心線の一致、腰痛を防ぐ工夫						
第4回	Ⅴ：水中リハビリと力学、血液比重計の原理						
第5回	Ⅵ：ネブライザーの原理、経管栄養と粘性の考え方						
第6回	Ⅶ：圧力の基本的知識、mmHgとcmH ₂ O、点滴と血圧						
第7回	Ⅷ：研究における変数の考え方、酸素ポンペと流量、真空採血						
第8回	Ⅸ：胃洗浄とサイフォンの原理、低圧持続吸引装置の原理						
テキスト	平田雅子 著「新体系看護学・基礎科目 物理学」：メヂカルフレンド社						
参考図書	平田雅子 著「完全版 ベッドサイドを科学する」：学習研究社						
成績評価の方法と基準	平常点10% 学期試験90%						
教員から学生へのメッセージ	<p>今まで物理を選択しなかった人あるいは選択したけれど大嫌いだった人がこの科目を学ぶと、「物理学ってこんなに楽しいものだったのか！」と開眼し、それによって看護学を学ぶ楽しさも高まります。</p> <p>すでに物理を充分学び、物理を最も得意とする人がこの科目を学ぶと、「物理学って看護学とこんなに接点があったのか！」と感激し、それによって看護学を学ぶ熱意も高まります。</p> <p>「物理学の知識はゼロである」と仮定して授業を始めますから、物理学に対して偏見を持たないで、迷わず選択することをお勧めします。</p>						